

【目次】

1. 提言の要約	2
2. はじめに	3
3. 現状分析	
1) ごみ処理の基本的な流れ	3
2) ごみ処理の現状	4
①一般廃棄物処理費用	
②一般廃棄物処理有料化実施状況	
③一般廃棄物分別収集状況	
3) 広域化計画の推進	5
4. 目的	
1) ごみ処理の広域化	6
～ごみ処理を広域化する目的～	
5. 課題	
1) ごみ処理広域化推進の課題	7
6. 提言	
ごみ処理事業共同経営体の設立	
～効率的・持続可能なごみ処理の実現に向けて～	
1) 広域ごみ処理施設集約化ビジョンの検討	9
① 施設立地場所選定の考え方	
② 整備時期の考え方	
③ ごみの分別収集方法の調整	
④ 財源確保	
2) 共同経営体の設立	11
3) 施設立地場所選定の基準づくり	12
7. おわりに	14

1. 提言の要約

ごみ処理事業共同経営体の設立 ～効率的・持続可能なごみ処理の実現に向けて～

現
状
分
析

- ・処理方式、分別種類、有料化導入の有無など各市町村で格差がある。
- ・処理施設は、初期投資、維持管理、耐用年数の到来に伴う建て替えなど多額の一般財源が必要であり、市町村財政を逼迫する要因となっている。
- ・ダイオキシン対策など高度な環境保全対策が必要である。
- ・広域化計画が推進されている。
「ごみ処理の広域化計画について」(平成9年5月厚生省環境整備課長通知)

目
的

- ### ごみ処理の広域化 ～ ごみ処理を広域化する目的 ～
- ・自治体負担の軽減、ダイオキシン類の削減対策、ごみ処理施設の集約化、ごみの排出抑制とリサイクルの推進

課
題

- ### ごみ処理広域化推進の課題
- ・施設更新時期にばらつきがあり集約化の検討が進まない。
 - ・処理施設の立地場所の選定で住民同意が得られない。

提
言

